のへと改良でき、労働生産性アルも従来よりも効率的なも の向上につなげることができ

を受け、受動喫煙に関する補

にかく一生懸命客室を埋めて

いきたい。地域のDMOの

いだったので、

個人客向けの

-ビスにも力を入れ

コン

ンバウンド部会長を仰せつか

はOTAもウェルカムで、と間口を広げるという観点で

つてはネットのレビュー

(5・0のかか) 3・7くら

人3割の入れ込み割合で、

だけでなく、そこで働く自分

(山温泉を活性化 地域にとって観光業は外貨今後もいろいろ ている。

を獲得するための重要な産

業。稼いだ外貨をいかに地元

にとどまらせて地域活性化に

進法の改正に伴う禁煙の流れ

助金で喫煙室を設け、

休館中には改修工事も実施

環境整備補助金により

IT補助金によりクラウ

Fi環境を整備

組みによって、口コミやレビ

た。さまざまな取り

り、町の仲間を連れて一緒に

催の研修などに社員全員で出 サルタントのリョケンさん主 客室内では禁煙

が良くなるよう努力し、

2022年、今年を「観光再生元年」に

氏

(福島県・芦ノ

社 大 大 大 大 温 泉)

(銀山莊社長)

剛史氏

(五浦観光ホテル社長、

司会=本社編集長·森田淳

コロナを機に次のステー

内の態勢づく

人れられる館 しっかり受け たお客さまを

営業で獲得し も進め、私が を重めの整備

郎内オペレ-

括管理など

に図って

. うちは団体7割、個

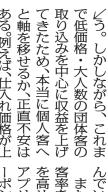
るのだと思う。「とにかくまり、高評価につながって まり、高評価につながっていき、それがお客さまの目に留

業力強化を常

ルスとして営

える。

る。



現させる必要がある。 保のために、高宿泊単価を実 保できるのか。そこで収益確利用として利益をしっかり確 6名用の部屋を2~3名

行が減り、分散的な個人客が り上げが見通しやすい団体旅 提供している。まとまった売把握しづらい宿泊サービスを 上主義から利益率重視への転 **経費を抱えた上で、利益率が** 旅館はもともと大きな固定

ある。例えば、仕入れ価格が 昇し光熱費なども掛かる中

宿泊業界をより魅力的

いて楽しい、こ

もしたくなる

岐点を意識しながら経営に臨 換が求められる。常に損益分 日の出・月の出とともに撮影ない太平洋の眺望を生かし、 り組みとして、 ている。SNSを活用した取 「世界の中の草津」目指す 和」を感じる滞在 人工物が一

続したい。 五浦を「画家たちの村」とし ら「東洋のバルビゾン」。もたい。天心の言葉を借りるな さらに天心、大観にちなみ、

策、インドウェブマー

ケティング対

インバウンド対策も引き

マインドの向上にもつながっ れが従業員のホスピタリティ

てはコンドミ

トを目指した した国際的な

続き重要となる。また、当館

員によって解消している宿泊

施設は多いので、ビザの申請

お願いしたい。費用も掛から

に大浴場や温

蒙がある、

役買うなど、

地元の拠点のよ

な形態で、そこ

観光施設の整備に一

〇の代わりに案内

たスタイルを

このような

い宿泊スタ

トランが付随

しているとい

うな存在になるべきだと思

地元の旅館組合などと協

い体制づくりにつ

いては私も

外国人を雇用しやす

しても良いのかもしれない へと誘う案内的な役割を果た

るので、 再構築補助金が採択されたのいきたい。申請していた事業 い。各種美術団体を対象とし 今後は画家の方々を招いて新 いる。 ランスの小さな村だと聞いてとは画家たちが住んでいたフ ような試みを実施していきた たな創作活動の拠点となれる こ、アトリエを作って、近くに県立美術館があ

る。万座、四つ

はと期待して

的にみて地域活性化につなが

けるはず。他の有名な温泉地

とは少し異なる形にはなる

ッシュアップなども進めてい力しながら、観光資源のブラ

が、地の利を生かしながら地

イルを提案で

きれば、中長期

ば、なお理想的だ。

し続けたい。

副会長

長

己敬次

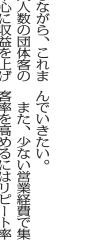
次子介

会

長

吉

広域連携しなが 万など群馬県内



アプリでのポイント還元、クを高める取り組みも大切で、 ポン券の配信などを検討し フォトコンテストを開催してしてもらい、集まった画像で け、インスタグラムにアップできるフォトスポットを設 生かした取り組みは今後も継いる。当館ならではの自然を

けると考えている。 ち出せる旅館が生き残って を感じた。今後は独自色を打独自性を打ち出していく必要 改めて自館の強みを認識し、

進めている。コロナによって、 下げてましい。などに関するハードルは極力

向上、待遇改善についても引 ものにするため、業界の地位宿泊業界をさらに魅力ある

国人を雇用でき ョンとしては 個人的な草

ト」を掲げ きるようにして 続きを経ずに外 津の理想のビジ ノィビティが豊いいる。例えば 部せんべい 近い。草津のような日本を代がっていて、草津からもほど 表する大観光地と比べ、うち近い。草津のような日本を代 ぎとこんにゃくしかない は規模が小さく、 あと、温泉マ 食べ物もね

る。草津としては温泉を生よって景観が維持されて カナダのウィス ってお客さんが っても滞在して ては温泉を生か にレストラン それの山版と ム的な発想を 旅館につい 客さまを地域の観光スポッ かしながら、 旅や宿泊の利便性が高まって る滞在を引き続き提供 地元の限られた観光資源を生 は伝統的な「和」を感じたい という声は依然として多い いるが、旅館に滞在した際に 現在は交通インフラも整備 旅館は宿泊だけでなく、 ベッド需要も高まり、 うき続き提供した、和風を感じられ

いつもたくさん

ラー。山なり

も言えるのが

で自立し、開発、成長していわり方という観点から、地域となる。当館と銀山温泉の関 スタイルが多様化、個別化し、 銀山温泉のために発展して を工事しており、当社自体も けるよう努めたい。 で、うちは比較的大きな部類 室以下の旅館が全体の半分 向け大きな励みにもなる。 にぎわいをもたらせるよう、まの選択肢を増やして地域に 自由度が上がったと感じてご の旅館文化として守るべきも 館像、今後の取り組みや方針 旅館と同時に飲食店2店舗 1泊2食付きは当然日本 コロナ禍前から旅行 銀山温泉は客室数10 一方でお客さ

の課題だっいだ当初の私

定から実行までが早く、

意識する姿勢は本当に大切

「常にお客さまの方を見

研修によりサービス向上を

事が発生する。

だから意思決

に強力なバックアップをもら

て」の精神をしっかり維持で

もトップセー た。自分自身 するかが、

入ることでメンテナンスの仕

をいかに維持

いた父の人脈

であっても、宿にお客さんが方向を見ている。電気屋さん

う、定期的に研修に参加する

度学んだことを忘れないよ 昇にもつながっていった。

ルスをして

頑張ってきたし、今後もこのたちも磨こう」という一心で とうれしいし、高単価旅館に スタンスでさらなる向上を目 晴らしい」と言ってもらえる いろいろなお声を頂戴する 「ここの旅館は社員が素 お客さまと接する中で な角度から銀山温泉を活性化 していきたい。

いきた

父が亡くな

開催できないがイベント

もみ

う意識が高まり、

の点数アップとなって表識が高まり、効果がレビ

などについて。

まにしっかり尽くそう」とい

(笑い)。現在はコロナ禍で

んな一緒にやっていたし、

っている。

なるよう頑張 選ばれる宿に

草津は町自体の規模が小さ みんなお酒が好きだし

力を社員一丸となって懸命に

の点数を上げるための努

ネットレビ

行った。その結果、

「お客さ

切だと感じる。

町全体で動くことが非常に大 プロモーションを行うなど、

Ŋ

防団も一緒で、とにかく「観

れ始め、実際に客室単価の上

光立町」なのでみんなが同じ

観光業が地域の先導役に

組んでいきた がそれにつ る必要性とともに、 のDMOとも積極的に連携し する存在であるべきだし、 地元産の食材を使用し、 れを実践する必要がある。 地域活性化への好循環を啓蒙 くくると思うが、

変わり、団体需要はコロナ前で若者を中心に趣味・嗜好が 考えている。国内企業の福利 ほどには戻らないのでは、 染がある程度まで収束し、 の滞在時間をいかに増やすか のニューノーマルの日々の中 時的に団体のお客さまが戻っ めるなどして信頼関係を築 において宿泊は必須で、 地域観光資源の価値を上げ コロナウイ C。お土産屋、観光 りいて深く関わって 丸で活性化に取り コロナ禍で お客さま

7 フトチェンジは必要だと思くなった。やはり個人客へのシ比べ社員旅行もだいぶ少なく

開始し、地域の集客と人流をで遠方から路線バスの運行をら、地元にバス会社がないの

大きな役目を果たせると考え

ってこそ温泉

街が生きる、そ

地域が良くな

厚生なども変化し、

かつてと

交通インフラ整備の観点か

飲食店運営に着目し、



定旅館ホテル

日協定旅館ホテル連盟中部支部連合会

会

長

名誉会長 長 会 長 中西河

JTB協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会

豊四郎

B協定旅館ホテル連盟 九州支部連合会 東籠勝松有小植近

B協定旅館ホテル連 名誉会長 盟 会 長

長 竜 與 之彦 西日本支部連合会

長 会 長 考力 浩健哲幸三一治喜郎郎郎夫司

B協定旅館ホテル連盟関東支部連合会

大久保 憲太朗 会 長 B協定旅館ホテル連盟 東北支部連合会

B協定旅館ホテル連盟北海道支部連合会 副会 西野目 碕 成 田

副会長